
ヒーロー

空梅太郎

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ヒーロー

【Nコード】

N4295T

【作者名】

空梅太郎

【あらすじ】

ヒーローになり損ねた少年がヒーローをやっている少女と出会う話

ヒーローに出会う

ヒーロー。それは子供たちの憧れ。そして、子供は、成長するにつれてヒーローになることをあきらめる。いつどこであきらめるか、それは人次第だ。しかし、なぜあきらめたかは簡単な話だ。現実を見たから。ヒーローはいない。それを知った時、人は悲しんだろうか？悲しんでないはずだ。そう、悲しまない。パチツッと目が覚めた。

「はあはあはあ。」

悪い夢を見た。俺がヒーローについて語るだつてありえない。そんなことは断じてない！

ピピピピ！ピピピピ！いつもは、俺より早く起きる優秀な目覚まし
が鳴った。

「さ、寝よ！」

こう言い残し僕は二度寝に入った。

「遅刻する~~~~。」

はははははは、マジで遅刻する。入学式そうそう遅刻なんか無理。しかし、今日の占いは一位。恋愛運はマックス。そして目の前には、曲がり角！ギャルゲーの王道。古いかもしれないがすべての基礎はここだ。さあ、来い。パンを喰えた転校生の女子。そんなことあるわけがないと思いつつも曲がり角を曲がる。

「キヤ。」

「イツツ。」

この反応はまさか来たのか？

「ごめんなさい。」

「いえいえ、こちらこそ。」

正直引いた。美少女だ。そして、俺とおんなじくらいの年齢だが、服装がヒーローの服装だったのだ。しかも変身後の。

「大丈夫？私、前田加奈子。自称ヒーローやってます。」

「見たらわかるわ！」

それが、僕の先輩との出会いだった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4295t/>

ヒーロー

2011年10月9日03時51分発行